

2024年11月リリース

バージョン 1.3.2 新機能のご紹介



株式会社 NTTデータ数理システム

新機能のご紹介

AutoML

Auto Modeling 将来予測 アイコン

時系列データが将来どのように推移するか、自動で簡単に予測



Auto Modeling 将来予測

変数選択	列名	列型	タイムスタンプ列	予測対象列	外生変数
	timeStamp	日付	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	demand	実数	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	precip	実数	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	temp	実数	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	temp_above_monthly_avg	カテゴリ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

入力データを出力に含める

基本設定

将来予測の期間 12 ステップ先まで予測する

モデルの探索時間 (秒) 60

評価指標 MAPE

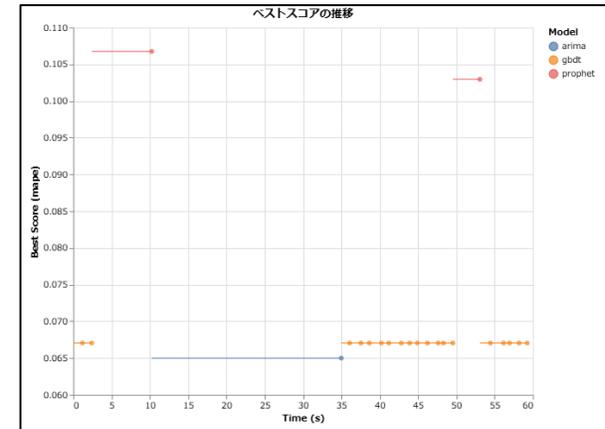
探索対象のモデル

詳細設定

実行 保存

Auto Modeling 将来予測 設定画面

Alkano 新機能である **Auto Modeling 将来予測** アイコンでは、定期的に計測されている **時系列データ** に対して、日時を表すタイムスタンプ列と分析したい予測対象列を指定するだけで、**今後どのように推移していくか簡単に予測**することが可能です。また、予測対象列に影響を与えているであろう他の変数の情報を **外生変数** として指定することもできます。



精度指標スコア推移の出力

Auto Modeling 将来予測アイコンはAutoML機能として、**60秒間**（変更可能）モデルの構築と評価を繰り返し、最適なモデル・パラメータを自動探索します。

また、試行錯誤の必要な**特徴量作成**も、将来予測でよく使われる特徴量が**自動生成**され分析に利用されます。

探索の過程での精度指標スコアの推移や、変数が予測対象列に与える影響の度合いも確認することができます。

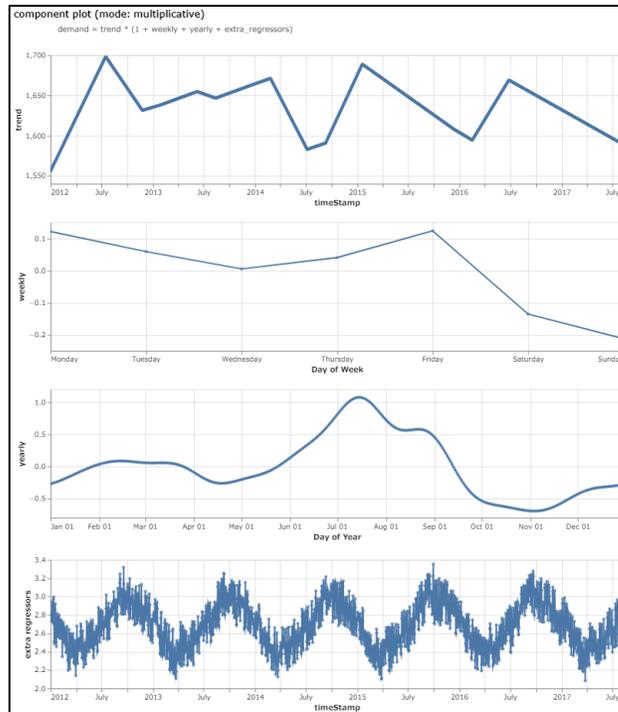
新機能のご紹介



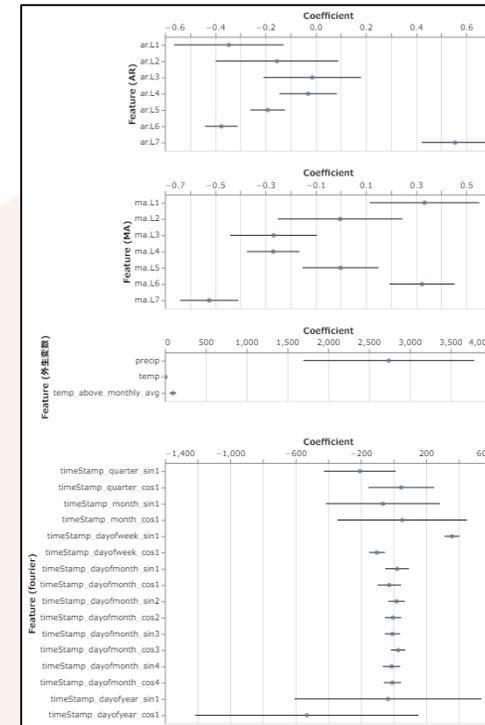
Auto Modeling 将来予測 アイコン

時系列データが将来どのように推移するか、自動で簡単に予測

Auto Modeling 将来予測アイコンでは、自動的に作成された特徴量がどうモデルに影響しているか、モデルの特性を踏まえて自動的に可視化します。



ベストモデルとして **Prophet** が採用されたときの特徴量情報
時系列のトレンド成分、季節成分、その他の成分の状況を
視覚的に確認することができます。



ベストモデルとして **ARIMA** が採用されたときの特徴量情報
自己回帰や移動平均などの自動的に算出される成分、
および外生変数の係数情報を確認することができます。



データ活用の確かなパートナー

お問い合わせ: 株式会社NTTデータ数理システム 営業部

Tel: 03-3358-6681

E-mail: alkano-info@ml.msi.co.jp

WEB: <https://www.msi.co.jp/solution/alkano/top.html>

株式会社 NTTデータ数理システム

NTT DATA NTT DATA Mathematical Systems Inc.